

町政に問う 一般質問



扇谷光恵 議員



問 町営住宅の建設・管理について

答 効率化および適正化を図れるよう努力

200軒の町営住宅も、今までのように悪くなったら修理するのではなく、長寿命化のためにも住宅ごとに個別に維持管理計画書を作り、定期点検により現状を把握しながら適切な修理及び耐久性の向上等を図る改善を実施するべきだ。

2年前、町営住宅の払い下げを考えているということだったが、その件はどうなっているのか。



菱浦町営住宅



東町営住宅

(町長) 人口ビジョンというのはなかなか難しく、1人来られても住宅の確保が大事で年々戸数も増え、管理に苦慮しているというのが正直なところだ。

しかし、定住人口の確保の基盤となる重要な施策でもあり、今後も計画性をもって取り組んで行きたいと考える。

整備計画については環境整備課において、総合戦略の目標人口や、老朽化住宅の建て替え、空き家のリニューアル物件などを考慮し、住宅整備計画を立てる。引き続き綿密な調査を行い、効率的かつ適正化を図られるよう努力する。

維持管理計画について、耐久性の向上を図るため、建築年度の古い物件の外壁補修

や雨どいの取り換えなどを今年度から順次行うこととしており、工事費の予算を当初予算に計上した。

町営住宅の払い下げについては、担当課で検討をしており、払下げ物件の整理や入居者へのアンケートを行い、可能性を調査している。しかし払い下げ物件が限られていることや、希望者が少ないこと、希望の地区に合致していないことなどから、折り合いがつかないのが現状だ。

町営住宅の事務・管理委託について、現在ハウスクリーニングなど一部業務は民間に委託し、業務の効率化を図っている。一括に委託すると言っても整理する課題が多々ある。今後必要に迫られればそういったことも検討する必要があると思うが、今のところすぐには考えていない。

(問) 2年前にも町営住宅の管理について質問したが、その時は192軒だった。今は200軒を超えていると思われるが、その管理がうまくいっているのか心配だ。

まだ住宅が足りないと言われているが、このままが予定されているが、このままどんどん増やしてよいのか。10年後、20年後の人口ビジョンを踏まえて建設していくべきではないか。

町営住宅の管理についても2年前の答弁は行政が管理すれば経済的効率的だということだったが、事務的管理的な事務委託できることは、多少経費が掛かっても、委託するべきだと思ふ。町長の考えを問う。



議会だより

3月定例議会

第536回3月定例議会を3月8日から15日の8日間にわたって開催。冒頭、平成29年度補正予算3案件が上程され、初日は提案理由説明後、29年度補正予算3件を慎重審議の結果、原案どおり承認可決。

2日目、30年度予算等15案件が上程され、町長の施政方針並びに提案理由説明、一般質問の後、

- ・平成30年度当初予算 7件
 - ・条例の制定 1件
 - ・条例の改正 3件
 - ・公の施設の指定管理者の指定 1件
 - ・人事案件 3件
- 以上15案件及び、追加上程された議員発議による条例・会議規則の改正3件について慎重審議の結果、原案通り全会一致で承認可決されました。

■平成 29 年度 補正予算

【一般会計】

平成29年度海士町一般会計予算3億6,617万6千円を減額し、予算総額52億6,415万2千円とする。

【補正予算の主な内容】

総務管理費	690万円	減額
社会福祉費	792万円	減額
児童福祉費	352万円	減額
清掃費	540万円	減額
農業振興費	1,993万円	追加
水産業費	1億5,510万円	減額
道路橋梁費	1,566万円	減額
港湾費	1億9,400万円	減額
畜産業費	490万円	減額
消防費	652万円	減額

【特別会計】

- ・平成29年度国保事業勘定予算67万4千円を追加し、予算総額4億2,398万2千円とする。
- ・平成29年度後期高齢者医療予算33万4千円減額し、予算総額8,501万4千円とする。

■条例の制定

- ・海士町地域住民活動支援促進施設設置及び管理に関する条例の制定

■条例・規則の一部改正

- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改訂する条例について
- ・海士町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- ・海士町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- ・海士町議会委員会条例の一部を改正する条例について
- ・海士町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例について
- ・海士町議会会議規則の一部を改正する規則について

■人事案件

- ・海士町教育長の任命
海士町福井 平木 千秋 氏（再任）
- ・海士町教育委員会委員の選定
海士町宇受賀 勇木 史記 氏（新任）
- ・人権擁護委員の推薦
海士町海士 宇野 和福 氏（再任）

■公の指定管理者の指定

・海士町いわがき集出荷施設	海士いわがき生産(株)	代表取締役	大脇 安則
・海士町稲藁保管庫	(有)隠岐潮風ファーム	代表取締役	田仲 寿夫
・海士町地域活動支援促進施設	島のほけんしつ蔵	代表	島根 輝美

指定期間 平成30年4月1日 ～ 平成35年3月31日

亀谷議員表彰の様子



特別功労者表彰の古濱議長



全国町村議会議長会長

～自治功労者表彰～

亀谷 潔 議員



議長表彰（在職 7 年以上）

去る 2 月 21 日、島根県町村議会議長会定期総会において、亀谷潔議員が、全国町村議会議長会長から自治功労者表彰を受賞されました。

同日、島根県町村議会議長会長表彰自治功労者表彰により、特別功労者表彰（在職議員 35 年以上）を、古濱正之議長が受けています。誠にめでとございました。

【島前町村組合議会】

3 月定例議会

（平成 30 年 3 月 29 日）

○ 29 年度補正予算 1 件

○ 条例案件 2 件

職員の育児休業等に関する
条例等

○ 30 年度予算案 3 件

【隠岐広域連合議会】

2 月定例議会

（平成 30 年 2 月 13 日）

○ 条例案件 8 件

議会議員の議員報酬及び
費用弁償に関する条例等

○ 29 年度補正予算 5 件

○ 30 年度当初予算 5 件

活動日誌

3 月

隠岐島前高校卒業式
全員協議会

海士町議会 3 月定例会

海士中学校卒業式

例月現金出納検査

海士小学校卒業式

福井小学校卒業式

隠岐島前森林復興公社理事会

隠岐広域連合臨時議会

けいしよう保育園卒園式

島前町村組合定例議会

島根県町村議会議長会

正副会長会議

隠岐ユネスコ世界ジオパーク
推進協議会総会

4 月

広報調査特別委員会

隠岐島前高校入学式

第 33 回隠岐島綱引大会

福井小学校入学式

海士小学校入学式

海士中学校入学式

隠岐神社春季大祭

保く高連携教育推進協議会

島前体育協会役員会

例月現金出納検査

知夫野だいこん祭り

4 月臨時議会

監査委員自主研修
参議院合区解消決起大会

編集後記

異常気象の影響で、近年にない大雪に見舞われ交通機関の乱れ、水道管の破裂等、日常生活での不便さを感じさせられた。

又突風が吹いたり集中豪雨、小雨など様々な現象が起きているが、CO2 排出による地球温暖化がもたらす悪影響のなせる業ではないだろうか？ 地球温暖化防止は、世界的な取り組みや対策が講じられているが、目標達成は容易ではない。健康な地球を守るために個人個人が環境に優しいエコな生活を心がけたいものである。

4 月に入って地域のあちこちで農作業に精を出す農家の方が見かけられ、田んぼが整備されている、一方種子まきも始まっている。家庭菜園も冬野菜が片付けられ、春野菜の準備がスタートしているようだ。観光客などから海士の米や野菜は美味しいと言われている。資源をフル活用して生産に励んでほしい。

（上田正子 記）



波多紀昭 議員



問 この冬の積雪に対する町の除雪作業に遅れが目立ったが、体制に問題はなかったか

答 十数年に一度と言われる積雪に見舞われ、除雪作業も困難を極めた

(問) この冬まれに見た積雪の状況の中で、町の除雪作業があまり活発な動きがなく、非常に遅れが目立った。予想を超えた積雪と低温の中で町民は雪との明け暮れの中に数日間置かれ、生活と交通に混乱を生じさせられた。

本町でも学校が3日間の臨時休校に、スクールバス、路線バスが4日間も運休に追い込まれた。車社会が当たり前の世の中では、日常生活を円滑にするためにも、朝の通勤時までには除雪しなければならぬ。

そこで一点目は、雪の降り方が局地化、激甚化する傾向の中で、町として路面状況のパトロールなど積雪状況をこまめに把握することに努めたかどうか、そういう状況の把握の上で除雪指示が的確に行われたのかどうか、除雪体制の実態について問う。

二点目は、国、特に国交省は何時なんどきでも災害は発生するという前提に立った防災減災対策を進めることを指導している。災害発生を前提に防災関係機関が連携して被害が発生する状況を予め想定し、情報を共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何を」するのか」時系列的に整理した指導計画である。海士町においてはこのようなタイムラインの取り組み、或いは計画の策定を含めて、そのような対応策がとられているのか。以上二点について町長に問う。

(町長) 今回の大雪は全国的なことで、数十年に一度と言われる積雪に見舞われ除雪作業も困難を極めた。特に県道については、県の出先機関

は西ノ島にあり、海士町には県の職員が駐在しておらず、しかも海士町には業者が1社ということ、対応が遅れた。このことについては前々から知事や県にも要請しており、職員が海士町で生活するような態勢が取れないかと言ってきた。今回のことを踏まえ強く要請したい。町道

については、自前で除雪を行ったが、除雪機が入らない所もあり、そういう場所は断念せざるを得なかった。行政としては、現場担当職員はもちろん、区、民生委員、消防

団など各種団体と連携を図り、きめ細やかな対応に努めたつもりではあるが、ご迷惑をおかけした。こういう異常事態には、自助、共助が大切であり、隣近所で連絡を取り合う体制を考える必要があるのではないかと思っている。

タイムラインについては、本町には「地域防災計画」というものがあり、雪に限らず風や水にも即応体制を取っている。町として松江気象台とも連携を取るようになっており心配はしてい

ない。電力、電話関係のように身近な所に施設があると安心できるので、引き続き県には駐在等の要望をしてまいりたい。

(環境整備課長) 今回の対策として、町と、県道を管轄している島前事業部、飯古建設、海士交通の4者で協議を行い、物理的に機械が少ないということ、町については今回当初予算で除雪機(クボタホイールローダー)の計上をさせていた。飯古建設もさらに一台購入するというのを伺っており、今回の教訓を受けて、豪雪時の対応について優先順位等整理し、なるべく迅速に対応したい。



For Earth, For Life Kubota

R430M R430E R530E R630E